

平成 21 年度小松市立学校 P T A 連合会
母親委員会グループ別研修報告書

今さら聞けないケータイ



Aグループ

澤田 幹子 林 和美 阿川小知子 木戸未央子
久司 一葉 永野きよみ 吉田 亜紀 今村 広子

はじめに

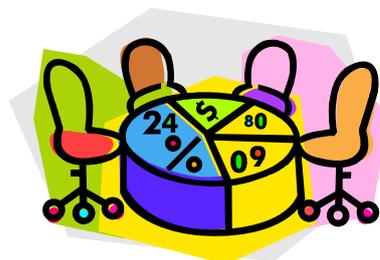
6月の矢原前教育長の講演会の後のことです。私たちのグループでは「研究のテーマ決めよう。何にする？」と話し合っていました。そこで「ねえ、ところでプロフってなんや？」「チェーンメールって？」というはてなマークが飛び交っていたのです。中高生は自由に使いこなしているケータイ、そしてそのケータイがらみでなにやら恐ろしい世の中になっていることは分かりますが、中高生の常識が私たち母親にとっては遠い世界のことなのです。私たちにとっては「ケータイ」ではなく「携帯」なのです。

「これではいけないのではないか！！」という話になりました。ケータイについて私たちももっと知らなくてはならないのではないかと思ったのです。子どもたちから遠く離れたところで、携帯電話を持たせないようにしたり、フィルタリングをかけたりするのは意味がないのではないかと。そしてもっと子どもたちとの距離を縮めて一緒に考えていくために、基本的なところから学ぼうということになりました。

グループみんなで話し合っ一人ひとりがそれぞれのテーマについて調べてくることにしました。聞いたことはあるけれどよく分からない言葉について、また自分の子どもは、そして友だち同士ではどんな使い方をしているのかを聞きとりをしてくるという人もいました。そしてリーダーの家に集まりコーヒーを飲み、おかしをつまみながら報告会をしました。

一人ひとりが調べて報告会をする中で「へー知らなかった。」「子どもたちはそんなことやとるんやね。」ということがいくつもありました。本やインターネット、携帯電話のショップからの情報、自分の子どもに聞きとりをしたことなどいろいろな情報交換ができました。思春期であまり会話のないお兄ちゃんからもこれをきっかけに話をするのができたという人もいて、生の子どもの実態が聞けたという収穫もありました。またいろいろな地域の学校のメンバーが集まっているので、地域によっても使い方がずいぶん違うのだということもわかりました。

ケータイに関して、子どもとの距離を感じている人は多いのではないのでしょうか？親である私たちから子どもたちに近づいて行きましょう。一方的に規制するのでは、反発するかうまく網目をすり抜けていくだけかもしれず解決にはなりません。まずはわたしたち保護者が初歩的なところから「ケータイ」について学びましょう。



有害サイトって、なあに？

携帯電話からはインターネットのホームページを見ることができます。そのホームページには子どもにとって好ましくない情報もたくさんあります。その中で**有害サイト**と呼ばれるものには、無修正のわいせつ画像や児童ポルノ画像がある「**アダルトサイト**」、違法な薬物を買うことができる「**ドラッグ販売**」、見知らぬ人と実際に会うきっかけになり、殺人や脅迫、児童買春に巻き込まれることもある「**出会い系サイト**」、自殺の方法が書かれた「**自殺サイト**」などいろいろなものがあります。

またゲームサイトやプロフィールサイトにも見知らぬ相手との情報のやりとりができる機能（ソーシャルネットワーキングサービス）があります。

実際に有害サイトにアクセスして被害にあった子どももたくさんいます。その一部を紹介します。

事例 1. 中学 1 年生女子。ゲームサイトの掲示板で知り合った会社役員に写真を送ったところ、より過激な写真を送るように強要され断ったが、「写真を学校のホームページに掲載してやるぞ」と脅された。

事例 2. 中学 2 年生女子。コミュニティサイトで知り合った成人男性に裸の写真を送ってしまい、その写真をばらまくと脅されて性被害に遭った。

事例 3. 高校 2 年生女子。出会い系サイトで知り合った成人男性から薬物をもらうことを約束し、援助交際をおこなっていた。

このような被害にあわないための…**フィルタリングサービス**って知ってる？

フィルタリングサービスとは携帯電話やパソコンから一定のサイトにアクセスできなくするサービスのことです。

平成 21 年 1 月から「モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（EMA）」が優良サイトと認定したサイトについては、フィルタリングの対象サイトから順次除外されています。

ところが、認定された中には、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）機能を有しているサイトも含まれているため、フィルタリングを利用していても見知らぬ人とのメールのやりとりが可能になります。

フィルタリングは万全ではありません！インターネットは日々進化しています。そこで、**フィルタリング機能に頼らず、絶えず保護者の目で「今子ども達は何をしているのか」を確認し、安全にインターネットを使える環境を整えてあげることが大切です。**

トラブル相談窓口

石川県警察本部生活環境課サイバー犯罪対策室 TEL 076-225-0110（代）

honbu.police.pref.ishikawa.lg.jp/seian_bu/seiankikaku/.../cyber51.htm

ブログってなあに？

ブログとは

ウェブログ (**weblog**) を略した言葉でインターネット上 (**web**) に残される記録 (**log**) というような意味がある。

簡単に言うと

インターネット上で観覧できる日記のこと！

ブログの種類

個人的な日記・エッセイ・写真・・・など、さまざまなテーマ・内容のものがある。

なぜ、ブログがこんなにブームになっているのか？

- ・ パソコンや携帯でメールさえ打てれば個人が**簡単**に情報発信できる。
- ・ ホームページより更新が**簡単**
- ・ **無料**で利用できるブログサービスがたくさんある。
- ・ 誰でも**手軽**にコミュニケーションがとれる。

ブログの良い所

- ・ 携帯でブログ（日記・エッセイ・写真など）を書いて自分の気持ちを表現できる。
- ・ コメントの書き込みでコミュニケーションがとれる。

しかし

ブログを書き込みすると想像をはるかに超える大勢の人がその内容を見ることになる。そして、ネットの向こう側には、いい人もいれば悪い人もいるということを忘れてはいけない。

危険性

個人を特定できる情報を書き込んだ場合に犯罪に巻き込まれる可能性がある。

注意しなくてははいけないこと

- ・ 個人の情報を安易に書き込まない。
- ・ 人の心を傷つける道具にしない。

これからどうしていけばいいのか

- ・ 子供たちが危険なことに巻き込まれないように、まずは**大人が携帯の知識を身につけ指導できる立場**にならなくてはならない。
- ・ 子供たちが困ったことや気になることがある時は、保護者や身近な大人に相談できるように日ごろから**コミュニケーション**をとり、話しやすい関係を築いていかなければならない。

プロフィールってなあに？

プロフィールとは

「プロフィール＝①横顔。側面像。②側面からみた、人物紹介。人物評。また、その人の略歴の意味でも用いる。(大辞泉)」の略。

簡単に言うと

ブログの携帯版。携帯サイトの記入式ホームページをさす。

どんなことが載っているの？

氏名・年齢・住所、好きな食べ物やタレントまで40～100項目にも及ぶ多種多様な質問事項が用意されている。トップには必ず当人の顔写真が掲載される。

なんのためにあるの？

サラリーマンの名刺交換のように、互いの自己紹介として交換するようである。

プロフィールってだれでも見れるの？

誰でも見れるネット上に掲載されます。有料サイトではないため。

アクセス回数によるランキングなども行われている。

何が問題なの？

個人情報流出すること。

写真も動画も掲載できる簡単なホームページ状態だから、子どもたちにとっては面白く感じられるようである。しかし、自分について不特定多数の人々が目にするネット上に発信していることになる。

その結果、ネットによるいじめや誹謗中傷の温床になりやすい。特定の個人の悪口を書き込んだり写真を掲載していじめたりすることで、精神的にダメージを受け登校できなくなったりするケースがある。

サイトによっては悪質な業者が関わっていることもあり、犯罪に巻き込まれるケースもある。

どうしたら止められるの？

パソコンに比べて携帯電話の方が「子どもがどんなサイトを見ているか保護者が把握しにくい」という問題がある。すでにいろいろ言われているが、携帯電話の使い方について子どもと十分に話し合うことが大切である。



「ネットいじめ」ってなあに？

ネットいじめとは

ネットいじめとは、個人もしくは集団で情報コミュニケーション技術を利用し、他人を傷つける行為をさす。(カナダの教育者・ビル・ベルセイ氏)

ネットいじめの温床「学校裏サイト」

平成 21 年 1 月から 3 月の文部科学省の調べで、全国で約 38,000 件の学校裏サイトが確認された。その掲示板に本人の望まない画像、誹謗中傷する言葉を掲示する。実名が書き込まれれば、校内のみんなの目に触れてしまう。自分がいじめにあっていることを多くの人に知られるのは、自尊心の芽生える思春期の子どもにとって非常に屈辱的なことである。

愛の告白をメールで

一種の罰ゲームとして流行しているようだ。好きでもない相手に愛の告白をさせる。これは罰ゲームの範疇を超えている。告白する側はもちろん、告白を受ける側にとっても苦痛が大きい。

なりすまし

いじめたい相手の本名でプロフのページを作り、携帯カメラで撮影したその子の写真を掲載し、「私とやりたい人は連絡してね。」といったコメントとともに、携帯電話の番号や住所を書き込む。なりすましメールの被害も深刻だ。クラス内の一人の子をいじめるために、連絡網などで得たクラス全員分のアドレスを使い、あたかもクラス全員からその子になりすましメールを一人の生徒が送ったケースもあるという。この場合は、クラスの全員から「うざい」と言われたと思込んだ子が、怖くて学校に行けなくなった。携帯電話に「なりすましメールを拒否する」という機能があるようだ。

子どもの様子からネットいじめを見つける

親の前で携帯が鳴っても出ない。メールの着信があっても見ようとしない。着信音を最小、またはマナーモードに設定する。このようなそぶりがいじめに遭っている可能性がある。また、ひと月のパケット代の実質料金が 100 万円を超えるというのはいじめる側になっているかもしれない。プロフや掲示板に大量の書き込みをするからだ。

〈参考〉

大人が知らないネットいじめの真実 渡辺真由子著 ミネルヴァ書房

マイコミジャーナル journal.mycom.co.jp/articles/2008/04/30/netbullying/index.html



母親委員会グループ別研修を終えて 感想

グループの人と集まって携帯電話のことだけでなく、いろいろな話をわいわいとしていくことができ楽しかったです。情報交換の場になりました。(林)

携帯について母親の立場として勉強になりました。子どもが携帯電話を持ちたいと言ってきた時には、内容について少しは助言ができると思いました。(澤田)

携帯について知らないことばかりでしたが、グループで集まり、話し合いを重ねていくうちに少しずつわかるようになりました。貴重な時間を過ごせて良かったです。(阿川)

携帯電話の機能について調べていると、何となくしか判らなかった事がたくさんあり、子どもに持たす時に何を注意しなくてはならないかという点が不安でしたが、少しは理解できるようになりました。子どもに注意するばかりではなく、まず私たち大人もマナーのある使い方をしたいなと思いました。(永野)

携帯電話は電話で相手と話すだけでいいと思っていました。調べているうちに自分の知らないことがたくさんありすぎて、驚くことばかりでした。もっと子どもと話し合っって携帯電話を与えたいです。(今村)

携帯電話、インターネットを日頃利用しているのに、知らないことがこんなにたくさんあって驚きました。有害であることは耳にはしていましたが、具体的にわかったのでとても勉強になりました。(久司)

言葉だけは聞いたことはありましたが、自分で調べてみて初めてわかったことがたくさんありました。「わからんわ～」と終わらせずに知ろうとする気持ちを持ってほしいと思いました。また何でも話し合える関係を子どもと作っておくことが大切だと思いました。(吉田)

グループ研修会を通じて携帯電話の危険性を勉強できてとても良かったです。今まで安易に持たせていたことを反省しました。子どもがすでにその危険性を知っていたのが良かったのですが・・・「携帯が悪いのではなく、要はそれを持つ人の人間性がいや」と息子に言われてしまいました。(木戸)